

OMIC Food Safety Newsletter No. 550 March 11, 2022

日本の食品安全情報をタイムリーに日本語とタイ語で解説するニュースレターです。

★ 今週のトピックス (日本の厚生労働省からの情報)

1. 最近の検査命令における追加実施項目 (2022年2月下旬)

通知	対象食品 (含加工食品)	検査項目	区分	備考、参照 URL
2/28	中国産 赤とうがらし	プロピコナゾール	強化	https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000903311.pdf 基準値 0.01 mg/kg - ppm

※検査対象条件等詳細につきましては、参照 URL をご確認ください。

2. モニタリング検査の追加 (違反による強化または検査命令解除による引下げ: 検査頻度 30%) (2022年2月下旬)

通知	対象食品 (含加工食品)	検査項目	区分	備考、参照 URL
2/21	中国産 マッシュルーム	ジエトフェンカルブ	強化	https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000900266.pdf 基準値 0.01 mg/kg - ppm

★ フィンランドの重要食品汚染物質－健康リスクと情報のギャップ

EUの規則(EC)No1881/2006と欧州委員会によるモニタリング勧告の対象になった食品汚染物質について、フィンランドの消費者を対象にした優先順位付けが行われました。多量摂取(95パーセント)した場合の急性暴露(単回24時間以内)、慢性暴露に関するリスクランキングは次の通りです。

https://www.ruokavirasto.fi/globalassets/yhteisot/riskinarviointi/projektit/ruokaviraston_tutkimuksia_1_2021_220921.pdf

急性暴露に関するリスクランキング

	中または高リスク	低リスク	無視できるリスク
致死的影響の可能性		青酸配糖体(アブリコット種子) トロパンアルカロイド	麦角アルカロイド 青酸配糖体(油種子を推奨量を超えて接種した場合)
致死的影響よりも軽い影響	ニッケル(アレルギーの人) T2/HT2トキシン モルヒネ	デオキシニバレノール	コデイン テトラヒドロカンナビノール

慢性暴露に関するリスクランキング

	中または高リスク	低リスク	無視できるリスク
閾値のない発がん性及び胎児毒性化合物	アフラトキシン ヒ素(無機) アクリルアミド フラン・メチルフラン AOH・AME(アルテルナリア属トキシン) 鉛 カルバミン酸エチル オクラトキシンA	ピロリジジンアルカロイド アフラトキシンM1 グリシドール バツリン	ベンゾ(a)ピレン 多環芳香族炭化水素(PAH4) ステリグマトシスチン
内分泌攪乱物質	ダイオキシン及びdl-PCBs(合計)	ダイオキシン(単独) BDE-99 ゼアラレノン ビスフェノールA	フタル酸類(DEHP, DINP, BBP, DBP) テトラヒドロカンナビノール
重篤な臓器障害を起こす化合物、閾値を超えて暴露した場合に発がんまたは胎児障害を起こす化合物	パーフルオロアルキル化合物(4PFAS)	デオキシニバレノール PFOA及びPFOS フモニシン カドミウム 麦角アルカロイド 過塩素酸塩 3-MCPD	ニッケル オクラトキシンA(非発がん影響) メチル水銀・有機水銀 メラミン アルミニウム TeA, TEN(アルテルナリア属トキシン) ビスフェノールA
上述よりも重篤度が低いまたは可逆的な影響を起こす化合物	T2/HT2トキシン	硝酸塩	エルカ酸 無機スズ MOSH

※次号のOMIC Food Safety Newsletter No. 551の発行は、2022年3月25日とさせていただきます。